

高円寺阿波おどり連協会

31 連紹介

(五十音順)

- ① 連長名
- ② 結成年
- ③ 連員数
- ④ ウェブサイト
- ⑤ フェイスブックページ

あおいしん 葵新連

- ① 森田 将令
- ② 1967年
- ③ 80名
- ④ <http://aoi-shinren.official.jp>
- ⑤ <https://www.facebook.com/葵新連-1503388296603473/>



高円寺阿波踊りの長い歴史の中で最初に独立連として誕生したのが葵新連です。大名行列を思わせる毛槍を先頭に団扇さばきが光る赤いハッピーの子供踊り。時に激しく時にしなやかに踊る女踊り、笑顔溢れる粋のいい男女ハッピー踊り、軽快で独特なリズムを刻む鳴物衆。これらが織り成す舞台構成や路上パフォーマンスをどうぞお楽しみ下さい。

あすか 飛鳥連

- ① 大澤 和生
- ② 1970年
- ③ 130名
- ④ asukaren.com/
- ⑤ facebook.com/飛鳥連-105579769538010/



飛鳥連は昭和45年に結成。伝統、歴史、和を大切にすることを次代へ伝承し続け、現在は130名の多世代に渡る連員が所属しています。本場徳島阿波おどりの最高峰、娯茶平（ゴチャヘイ）の姉妹連として、情感豊かな鳴り物と、自由で美しい踊りを目指して活動しています。漁師が投網を打つ仕草を模した網打ちは、娯茶平直伝。阿波の情と江戸の粋とが織りなす表情を、心を込めて踊ります。

いろは連

- ① 飯星 信人
- ② 1972年
- ③ 80名
- ④ iroharen.com/
- ⑤ facebook.com/Iroharen.Koenji/



連名はイロハ順の最初の3文字。「一番を目指す」ところから由来。女踊りは時には激しく情熱的に、時にはゆったりと情感豊かに踊り、見る者の心を揺さぶります。男踊りは団扇片手に自由奔放・豪快に踊ります。横っ飛びは男踊りの見せ場の一つです。鳴り物はいろは伝統の音を大事にし踊り手と一体になって盛り上げます。「火事と喧嘩は江戸の華、火事場に踊る火消しの纏」纏をしょったいろは連は粋でいなせな火消しの心意気で頑張ります。

えど う き 江戸浮連

- ① 河原 一
- ② 1967年
- ③ 45名
- ④ <https://edouki.jimdo.com/>
- ⑤ <http://www.facebook.com/edouki1967>



江戸浮連は昭和42年（1967年）高円寺南商盛会（現高円寺パル商店街）の店主、従業員、家族子弟を連員として結成されました。その後一般からも募集し幅広い年齢の連員で構成されています。平成26年4月、徳島の有名連「蜂須賀連」さんの練習に初参加、同年5月友好連にさせて頂き、正調の鳴物、豪快な男おどり、華麗な女おどりを目指しています。そして本年結成50年目を迎えました。元気で楽しい阿波踊りのため日々練習に努めてまいります。連員募集中です！

えど か ぶ き 江戸歌舞伎連

- ① 中村 利雄
- ② 1995年
- ③ 68名
- ④ <http://www.kabuki.sakura.ne.jp/>
- ⑤ <https://m.facebook.com/edokabukiren/>



江戸歌舞伎連は1995年に結成、今年で22年目を迎えます。皆様楽しんでいただきたい私たちの見せ場は、女踊りは飛び跳ねる事のない品よい踊り、男踊りの渋さと凛々しさ、華やかな女性の男踊り、心浮き立つお囃子もぜひお楽しみください。そしてケレン味たっぷりの奴踊りも見せ所の一つです。江戸歌舞伎の名の通り、皆様に江戸の小粋さと楽しさをお届け出来ればと願い日々練習に励んでいます。江戸歌舞伎連をどうぞご最良に！

江戸っ子連

- 1 平野 治彦
- 2 1970年
- 3 100名
- 4 <http://edokko-ren.net/>
- 5 <http://www.facebook.com/edokko.ren/>

“阿波の阿呆に拘り続ける 江戸の阿呆達”

結成47年を迎えました江戸っ子連は、阿波おどりの聖地・徳島の阿波おどり振興協会「阿呆連」の唯一の弟子連として、師匠の教え“心をおどる阿波おどり”の伝承に努め続けております。来るべき2020年に結成50周年を迎えます江戸っ子連は、高円寺阿波おどりのさらなる発展のために精進を続けてまいります所存でございます。



小六

- 1 布沢 雄大
- 2 1974年
- 3 40人
- 5 <https://www.facebook.com/korokukouenji/>

点と点が繋がり線になり、線が繋がり面となる。更にその面が合わさり連を形作る。もちろん綺麗な形になるわけがないが、その歪んだ形こそが魅力となる。いびつな角を取って丸くするよりも、削って尖らせ祭を楽しむ武器にする。見ているだけじゃ勿体無い、一緒に騒ごう!と思わせる求心力を持ったクセの強い傾奇者たちが、アマチュア精神を忘れず今日も切磋琢磨。連綿と続く発展に完成形は無く常に全盛期。



菊水連

- 1 安住 一成
- 2 1964年
- 3 95名
- 4 www7a.biglobe.ne.jp/~kikusui_ren/
- 5 <https://ja-jp.facebook.com/kikusui1964koenji>

東京オリンピック開催の年に連を結成。3歳から80歳までの老若男女が集い、本場徳島とも交流を深めながら、菊水らしい阿波おどりを追及し練習に励んでいます。多彩な音色を奏でる鳴り物と指先まで鮮やかな踊り手とが一体となって、菊水連を作り上げています。

日本の伝統芸能である阿波おどりをやれることを誇りにもち、その魅力を広めるために国際交流も積極的に行っています。



胡蝶蓮

- 1 鈴木 益実
- 2 2010年
- 3 65名
- 4 <https://www.kotyoren.jp/>
- 5 fb.me/kotyoren

結成7年今年念願の連協会所属になり、心機一転練習に励んでいます。胡蝶蘭の花言葉にあやかり「幸せ舞い込む胡蝶蓮」として笑顔が咲く踊りや鳴り物を目指しています。女踊り・男踊り・女浴衣踊り・ちびっこ踊りと年齢層も厚く衣装も鮮やかな色を使っています。徳島の正調目指しこれからも踊って鳴らします。



しのぶ連

- 1 粕谷 俊春
- 2 1972年
- 3 75名
- 4 <http://www.shinoburen.com/>
- 5 <https://www.facebook.com/shinoburen/>

私達、しのぶ連は昭和47年に結成して今年で46年目を迎えます。連独自のダイナミックな迫力のあるお囃子と、正調踊りに扇を取り入れたオリジナルの扇踊りを中心に、静の踊り、動のお囃子の一体化を目指している連です。連員は杉並地区に留まらず広範囲から集まり、年齢も様々。最近では親子二代三代で踊りやお囃子を楽しむ家族も増え、裏方のお父さんお母さんを含め、連全体が大家族の様に丸となり、明るく楽しく頑張っています。自称、「いい男いい女のしのぶ連です」



写楽連

- 1 嶋田 清孝
- 2 1980年
- 3 80名
- 4 <http://sharakuren.net>
- 5 m.facebook.com/Sharakuren

謎の浮世絵師と呼ばれた「写楽」の絵に惹かれ、その奥の深さは阿波おどりの奥の深さに通じるものと感じた由縁で写楽連と名付けました。鳴り物は二拍子の連打が基本。踊り手は華やかな女踊り、優美な女浴衣踊り、勇猛な男踊り、息のあった法被踊り、将来有望な小写楽、そして斬新な奴踊り。徳島に学び正調阿波おどりを追及しつつ、軽快なリズム、元気な笑顔、心揺さぶる楽しい阿波おどりを目指します!



志留波阿連

- 1 小野口 さおり
- 2 1970年
- 3 120名
- 4 <http://sirubaa.jp/>
- 5 <https://www.facebook.com/sirubaa/>



1970年。高円寺駅の南側にあったシルバー商店街の有志が創立し、のちに「阿波の志を留める」という意を込めて、志留波阿連となりました。姉妹連(徳島みやび連)との交流や日々の活動を通して、伝統を守りつつも新しい阿波踊りを探求しています。華やかな女踊り、颯爽とした男踊り、可愛いらしい子ども踊り、軽快な鳴り物と、バランスの良さには定評があります。笠をかぶり下駄を履いた女性が飛び跳ねるように踊る「跳び踊り」は、一見の価値あります。

吹鼓連

- 1 福村 沙織
- 2 2001年
- 3 120名
- 4 <http://suicoren.com/>
- 5 <https://www.facebook.com/吹鼓連-256498964512911/>



吹鼓連の連名の由来は「鼓吹」という言葉でその意味をいつも心に留め置くため、「吹」と「鼓」の間には返り点をつけています。徳島とのつながりは深く、平成15年より徳島の阿波おどりグループ「藍吹雪」に師事し、平成20年には「天水連」と姉妹関係を結びました。女踊りは美しくあでやかに、男踊りはダイナミックに宙を舞い、命のほとばしりを表現します。鳴り物は阿波の正調を奏で、命の賛歌を歌います。そして、阿波の技と心を皆様にお届けします。

粹輦

- 1 駒形 親一
- 2 1996年
- 3 40名
- 4 <http://kouenji-suiren.blog.jp/>
- 5 <https://ja-jp.facebook.com/kouenji.suiren/>



私たち粹輦は「粋な踊り、粋なお囃子、粋な心の仲間たち」を合言葉に日々練習を重ねてまいりました。男踊りは勇ましく、女踊りはしなやかな踊りを目指しており、団扇や扇も使って踊りに華やかさを加えています。またお囃子は、鉦と太鼓の掛け合いにて一味違う一拍子の音を奏で、踊り手をより活気付けています。そんな粋な仲間たち、粹輦をどうぞご覧ください。

朱雀連

- 1 井上 麻紫子
- 2 2003年
- 3 65人
- 4 <http://www.suzakuren.com/>
- 5 <https://www.facebook.com/suzakuren/>



「縁があり円になり宴が始まり演になる」

伝統的な2拍子を基本に革新的な音を絡ませ、観る人も思わず心躍る鳴り物、可憐かつ情熱的な女踊り、弓張り提灯を持ち勇ましい男踊り、粋さと晴れやかさを表現する法被踊り。縁有って集まったメンバーが本気で楽しみ、踊り、奏でて作り上げる個性豊かな阿波おどり。魅せる阿波おどりを追求し、エネルギーあふれる演舞を目指しています。

騒連中

- 1 上原 正
- 2 1994年
- 3 40名
- 5 <https://www.facebook.com/zomekifreaks/?fref=ts>



一切の無駄を削ぎ落とし、本質的なものだけにこだわる。

その優雅さは、極めて控え目で、さりげなく。ここにある品の良さ、洗練の凄さというのは、むしろ物足りなさすら感じる。本場、阿波徳島の名門に師事を仰ぎ、1995年、騒連中(ぞめきれんぢゅう)は設立されました。忍耐強い音と踊りの至芸に、「通好み」を目指します。連名由来の「ぞめき」の中に、今宵も小粋に、浮かれ騒いでみませんか。

天狗連

- 1 喜入 恭子
- 2 1965年
- 3 130名
- 4 <http://www.tenguren.jp/>
- 5 <https://www.facebook.com/tenguren/>



天狗連は1965年に結成、徳島の平和連の姉妹連となり現在は130名の連員が所属します。優雅な女踊りと粋な男踊り、心弾む音を奏でる鳴り物衆と元気いっぱい小天狗で成る私たちは、連のモットーである『伝統芸能の継承』と『青少年育成』を心に、これからも日々練習に励んでいきます。

てんしょう 天翔連

- 1 荻野 勇二
- 2 2003年
- 3 110名
- 4 <http://tensyouren.com/2011/>
- 5 <https://www.facebook.com/tensyouren/>



本場徳島『葉月連』の姉妹連として、基本に忠実、且つ上質な阿波おどりを目指しています。女踊りはキレとしなやかさを、男踊りは威勢のよさを表現します。また、少数精鋭で、独特な団扇さばきをする黒法被踊りは一見の価値あり。踊り子を際立たせる鳴り物衆は繊細かつ豪快に静と動を表現します。そして、なんといっても天翔連の一番の見所は連としての一体感。笑顔と感動を届けるべく、私たち自身も仲間と共に阿波おどりを楽しみます。

とうきょうしん 東京新のんき連

- 1 笠井 清司
- 2 2009年
- 3 100名
- 4 <http://tokyoshinnonki.com/>
- 5 <https://www.facebook.com/tokyoshinnonki/>



本場徳島・新のんき連の東京支部として伝統の『のんき調阿波おどり』の流れを汲み、男踊りは豪快で陽気に踊り、女踊りはしなやかさの中にも躍動感に溢れ華やかな阿波おどりです。お囃子も軽快なテンポが特徴で、身体も心も弾む陽気な阿波おどりが楽しめます。阿波おどりを通して日常では味わえない緊張感を求め、上質な阿波おどりを探求し、踊り子の衣装に描かれた花火のような、豪快で華やかな阿波おどりをお届けしています。

とうきょうてんすい 東京天水連

- 1 岩浪 幸宏
- 2 1985年
- 3 40名
- 4 <http://tokyo-tensuiren.jp>



天水とは、「阿波踊りさえあればよい」といほどの阿波踊り好きのこと。昭和60年、わずか17名で結成したこの東京天水連。女踊りはしなやかかつ凛とした踊りで、男踊りは腰の低さを追及し、威勢良くそして豪快な踊りで祭りを盛り上げます。今ここで踊れるこの時を大切に思い、精一杯踊ります。全身に響き渡るお囃子とキレのある踊りをぜひご堪能下さい。

とうしゅうさい 東洲斎

- 1 小川 香織
- 2 2008年
- 3 80名
- 4 <http://www.nazonoukiyoeshi.com/>
- 5 [facebook.com/nazonoukiyoeshi](https://www.facebook.com/nazonoukiyoeshi)



阿波踊りの歴史と伝統を踏襲しつつ、東洲斎としての個性も大事にしたい。この両面を追究していくことは、本当に楽しいです。もうすぐ連結成10周年。連員も13人から70人になりました。私たちが大切にしているのは、「一体感」。そのために、踊りは鳴り物の音に耳を澄ませ、鳴り物は踊りの足の運びを注意深く見て、お互いの思いを感じ取っています。これからも、腰をおとして一歩ずつ。連の歩みは踊りの一歩と同じです。

のびゆく連

- 1 鈴木 淑夫
- 2 1962年
- 3 90名



のびゆく連は幼稚園から中学生達を中心に高校生大学生お父さんお母さんと家族みんなが協力して活動するアットホームな地元連です。手をあげるのがやっという幼稚園生から、鮮やかに団扇を廻す小・中学生、子供ながらに優雅な色を出す女踊り。お父さんお母さん達で結成する涼げな若草色の浴衣を着た鳴り物は、明るい調子の音色でお祭り気分をさらに盛り上げ、心を躍らせます。子供と共に年々成長する、それがのびゆく連です。

はなびし 花菱連

- 1 塚原 正行
- 2 1966年
- 3 50名
- 4 <http://www.hanabishiren.com/>
- 5 <https://www.facebook.com/hanabishiren/>



花菱連は昭和41年に結成され、今年で51回目を迎えます。伝統を重んじながら新しい事に挑戦している花菱連は、長年各地のお祭りやイベントに参加して盛り上げております。ダイナミックにそして軽やかに動き回る女提灯、一致団結した踊りの男踊りや女踊りに加えて、鉦を中心とした力強い鳴り物が一丸となった、観ている側を飽きさせない演出を是非ご覧ください。

はなみち 花道連

- 1 名和 一成
- 2 1995年
- 3 60名
- 4 <http://hanamichiren.com/>
- 5 <https://www.facebook.com/hanamichiren>



世界を藤色で染め尽くすような、揃いの衣装を身にまとい、高円寺で生まれ育った花道連。心臓の鼓動をイメージさせる花道連唯一独自のお囃子は、耳にすれば心が浮き立ち、エモーショナルなリズムで沸き立つように身体が動き出します。その音に乗って踊るのは、しなやかで色香漂う女踊り、キレのあるまとまりで構成する女ハッピー、渋さと重々しさに挑む男踊り、そして元気いっぱい可愛い溢れる子供踊り。それらが一丸となり、観る人の魂を揺さぶります。

ひさご連

- 1 小川 晴美
- 2 1997年
- 3 35人
- 4 <http://hisago.sub.jp/>
- 5 <https://www.facebook.com/hisagoren/>



ひさごとは、ひょうたんの事を指します。縁起（演技）が良いものと言われ、昔から日本人には馴染みがあり、ひょうきんで愛嬌のあるその形は人を和ませます。私たち、ひさご連はそんな踊りを目指し、『明るく、楽しく、元気よく』をモットーに正調阿波踊りを研究しております。高円寺の連としては、まだまだ新参者ではありますが、世代や背景の違いを超えて、一つになるひさご連の阿波踊りをご覧ください。

ひよっところ連

- 1 喜入 隆
- 2 1964年
- 3 150人
- 4 <http://hyottoko-ren.com/>
- 5 <https://facebook.com/hyottokoren/>



昭和39年に新高円寺ルック商店街を基盤として連を結成し、平成6年に阿波おどりの本場、徳島の阿波おどり振興協会所属「うずき連」と出会い、今では姉妹連として日々精進しております。踊りパートは元気で可愛い子供踊り、粋で華麗な女ハッピー、優雅で統制の取れた女踊り、笑顔で巧みにうちわをさばく男踊りがあります。鳴物はゆったりとしたリズムを基本とし、時には激しく「心を!」「体を!」ふるわせませす。高円寺では歴史の古いひよっところ連。皆様に踊り心と笑顔をお伝えいたします。

べんけい 弁慶連

- 1 根本 雄治
- 2 2007年
- 3 95人
- 4 <http://benkeiren.net/>
- 5 <https://www.facebook.com/benkeiren/>



本場徳島の正調阿波おどりを目指し、伝統を守る大切さ・進化する勇気を持って日々練習を重ねております。阿波おどりの魅力や楽しさを連員一丸となって皆様にご披露出来れば幸いです。弁慶の隈取・弁慶格子をあしらった衣装を身にまとった弁慶連、ご声援よろしくお願い致します。

まいちょう 舞蝶連

- 1 鈴木 一男
- 2 1994年
- 3 66名
- 4 <http://maityou.main.jp>



ダダ打ちと呼ばれる迫力満点の鳴り物、金銀に煌めく団扇を操る団扇踊り、腰を低く落とし勇ましく踊る男踊り、指先から足の角度まで揃えた女踊り、そして、小さくても人一倍気合の入った小蝶。観る人に喜んでいただける様、精一杯演舞いたします!

みどり 美踊連

- 1 齋木 康二郎
- 2 1972年
- 3 60名
- 4 <http://midoriren.com>
- 5 <https://facebook.com/koenjimidoriren/>



高円寺南の緑ヶ丘町会を拠点に1972年に結成されました。正調阿波おどりをベースに、昔ながらの優雅で情緒あふれる音色のお囃子にあわせて、男踊りは硬派で自由奔放に、浴衣踊りは鮮やかな団扇さばき、女踊りは品よく可憐に踊ります。徳島阿波おどりへも参加し、本場阿波の「心」と「音」にあやかり、魅力ある阿波おどりを目指しています。仕事も年齢もさまざまですが「阿波おどり」という絆で、みんなで家族のように楽しく活動しています。

わかこま 若駒連

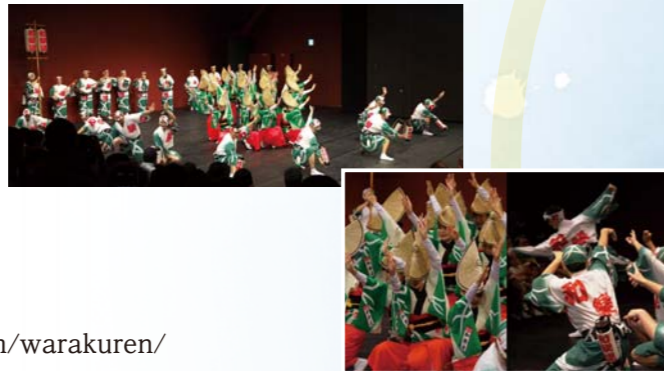
- ① 高橋 啓
- ② 1974年
- ③ 60名
- ④ <http://www.wakakomaren.com/>



高円寺北口商店街の命を受け、子供踊りを育てる連として発足しました。昭和53年に大人の連へと成長をしてから、子供踊りと大人踊りが共に活躍のできる連として今日まで活動しています。若駒の跳ねるが如く生彩な子供踊り、たおやかさと力強さを追求する大人踊り。伝統様式に敬意を持ち、踊る笑顔なたたえながら若駒連らしい一体感を表現できるよう日々練習に励んでおります。

わらく 和楽連

- ① 井上 利里子
- ② 1976年
- ③ 77名
- ④ <http://warakuren.com/>
- ⑤ <https://www.facebook.com/warakuren/>



連名の通り「和をもって楽しく踊る」をモットーに、年間を通して活動しています。家族で所属しているメンバーが多く、アットホームな雰囲気大切に、情緒ある正調阿波踊りを目指しています。女踊りはしなやかさと軽やかさと笑顔、男踊りは提灯を持ちキレと躍動感を、子供踊りは元気よく、鳴り物は笛や三味線の旋律を大切に、鉦や締太鼓、太鼓と共に心を弾ませるよう奏で、これらが一体となって和楽連を精一杯表現していきます。



